

乾季の今こそ読みたい！

ぼくと カブトムシ in マニラ



なぜならのものが好きです。
ぼくはここのものが好きです。
だからです。

Harama

マニラで昆虫採集…それもカブトムシが捕れることを知っていましたか？大人目線では気付かなかった世界を昆虫が大好きな小学 1 年生のはるま君に教えてもらいました！これを読んだら今週末には早起きしてカブトムシを捕まえに行きたくなるかも！？



はるま君、こんにちは！今日は色々教えてね。早速だけどカブトムシはどこで捕れるの？車で遠くまで行くの？

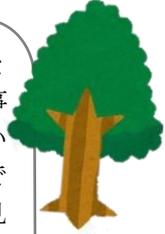
ううん！歩いて行くよ！BGC のハイストリートとか、近所の木にいるんだ。地面がコンクリートのところに植えてある木にもいるよ。朝が一番捕まえ時だからいつも5：30には出発するの。服装は長ズボンとか。虫かごを持ってね！





ええー！？そんな身近にいるんだね。びっくり！虫取り網も持っていく？

持って行かないよ。木を足で蹴って落ちてきたところを捕まえるから。1本の木を10回以上蹴る事もある！ライトが点いている辺りにいる事が多いよ。あと木の高いところをよーく見て探すの。でも1匹も捕れない時もたくさんあるよ。だから見つけた時はすごく嬉しい！ジメジメしているとあまりいないからレイニーシーズンが終わって乾季になるとわくわくする！



まさに今がその時だね！ところでどんなカブトムシがいるの？

ヒメカブトとサイカブトがいる！ヒメカブトは気が強くて、サイカブトはおとなしいの。どちらも日本のカブトムシよりも角も体も小さめなのが特徴だよ。ぼくが見た中では大きくても6.5cmくらいだったと思う。



CHECK!!



ヒメカブト

ヒメカブト属 (*Xylotrupes*) の総称。カブトムシの胸角を引き伸ばしたような姿をしている。繁殖力や環境への適応力があり、東南アジアを中心にインドから台湾、オーストラリアにまで広く分布している。成虫はサトウキビの茎の内部に穴を掘って中で汁を吸うため、サトウキビの害虫であるとされており、日本への輸入は大半の種が植物防疫法によって禁止されている。闘争心が強くケンカ好きであると言われ、タイでは古くからヒメカブトを戦わせるメンクワンと呼ばれる昆虫相撲が行われている。タイヤラオスでは食用にされており、日本の輸入食品店などでも「食用カブトムシ」として乾燥食品となったものが販売されている。



サイカブト

サイカブト属 (*Oryctini*) の総称。日本では沖縄県に生息。和名はサイのようなやや湾曲した短い角を持つことにちなむ。本種の原因はインドシナ半島周辺とされるが、人為的な植物の移動に伴い、東南アジア広域からインド・スリランカ・中国南部、果てはハワイにまで分布を広げている。体長は雌雄共に 30~45mm。背面の体色はやや光沢のある黒色で、若い個体は腹側に赤みが見られる。オスの大型個体は弓なりに後方を向いた細長い角を頭部に 1 本持つが、メスも短い角を備えるため、小型個体では雌雄の見分けが付きにくい。角の構造上、闘争では普通のカブトムシのように相手を持ち上げて投げ飛ばすことはせず、相手が退くまでサイのように押し合い続ける。ヒメカブト同様、ヤシやパイナップル、サトウキビの害虫である。



(参考：ピクシブ百科事典)



日本のカブトムシよりもかわいいサイズなんだね。捕まえたカブトムシはどうするの？

家に持って帰って飼育するの。虫かごから出したらプラスチックの大きな衣装ケースに移すんだ。衣装ケースにはココナッツソイルとピールを敷いてあるよ。BGCの園芸屋さんで1袋50ペソくらいで売っていて土よりも安いので！飼育の仕方はママが日本で買ってきた本を見て勉強しているの。エサはカブトムシ用のゼリーをあげているけど、前に青りんごをあげたらそれも食べていたよ。パパが「フィリピンではカブトムシはココナッツを食べるヴィラン（悪）だと思われている」って言ってたよ。





へえ〜。結構なんでも食べる、いわゆる雑食に近いのかもね。飼育のポイントはあるかな？

よーく観察することかな！オスとメスを捕まえてきたら一緒に飼育するの。1週間くらいで卵を産むよ！黄色っぽい白い卵で大きさは5mmくらい。卵を見つけたら他のビンに移さなきゃいけないから毎日卵のチェックをするんだ！多い時は一度に17匹飼っていた事もあるけど、繁殖期になるとオスがメスを取り合ってケンカするんだよ。





え！？繁殖までさせているの？すごいね！ケンカさせて遊ぶ事もある？



させないよ！ケンカしているのを見つけたらすぐに離すよ。だって死んじゃうから。カブトムシに触る時は噛まれないように首のところを上手く持つのがポイント。噛まれた時はぶんぶん振り回しても離れなくて、すごい痛かった！



そうだよ、死んじゃったら悲しいもんね。産まれた卵のその後はどうなるの？

日本だと専用の産卵マットが売っているんだけどフィリピンにはないから自分で腐葉土を買って管理しなきゃいけない。ふ化させるのはとても難しいの。だからまだふ化に成功した事はないんだ。





ふ化に成功したら教えてね！見に行きたいな！！それでは、最後にカブトムシの好きなのを教えてください？

カブトムシの持っている能力が好き！角で投げとばすところがかっこいいし！一番好きなカブトムシはフィリピンにはいないけれどヘラクレスオオカブトです！長くて大きな角が強そうでかっこいいから！



はるま君、貴重なお話をどうもありがとうございました！これからもカブトムシと一緒にフィリピン生活を楽しんでください！



編集ウラ話

マニラの都心部でカブトムシ採集を楽しめるなんて、はるま君から聞かなかつたら一生知らずに過ごしていたと思います。大人だけのコミュニティで過ごしていると気付かない事を子どもたちはよく知っているものだと感嘆しました。飼育の様子を聞いていると、毎日少しの変化も見逃さないように観察していて、はるま君の絶大なカブトムシ愛が伝わってきました。「ケンカさせて遊ぶの？」と聞いた自分が恥ずかしい（苦笑）。ちなみに、カブトムシ採集は必ずパパと一緒にとか。何故なら「ママはカブトムシ触れないから！」なんだそう。触れないけれど飼育の本を買ってなど、はるま君の後方支援に励むお母さま…。家族の微笑ましい様子もうかがえてホックリ！でした。（編集委員 Etsu）



マニラを楽しむ子どもたちを募集中！！

まぶはいでは、自分なりのマニラ生活の楽しみ方を教えてくれる子どもたち（小学生～高校生）を募集しています。編集委員がお話を聞いて記事にさせていただきます。あるいは「自分でページを作りたい！」なんて子どもたちも大歓迎！必要に応じてサポートしながら一緒に作らせていただきます。まぶはいが大人と子どもの架け橋になり、より豊かなコミュニティ形成のきっかけになりますように…。願いを込めて！

ご興味のある方は下記までご連絡ください。

マニラ日本人会事務局

電話：8810-7909 / 8815-3559

E-mail：jami@jami.ph